

三世代の親子関係

—マッチングデータによる実証研究—

佐々木尚之・高濱裕子 編著

親子関係を祖父母—親—孫の連続する三世代に拡大し、歩行開始期および思春期における三世代親子システムの関係性を学際的に検討。マッチングデータによる実証的分析により、親子関係研究に新たな視点を導入する。

【編者紹介】

佐々木尚之（ささき・たかゆき）[序章・第1章・第4章・終章]
大阪商業大学准教授

高濱裕子（たかはま・ゆうこ）[序章・第6章・第7章・終章]
お茶の水女子大学名誉教授

【執筆者紹介】

氏家達夫（うじいえ・たつお）[第2章]
放送大学愛知学習センター所長（特任教授）・名古屋大学名誉教授

保田時男（やすだ・ときお）[第3章]
関西大学教授

野澤祥子（のざわ・さちこ）[第5章]
東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター准教授



A5判・246頁 定価(本体 2,500円+税)
ISBN978-4-7599-2225-7
2018年5月刊・好評発売中

序章 親子関係を三世代にわたってとらえる重要性

1. 本書のねらい
2. 祖父母世代の台頭
3. 三世代親子関係を分析するにあたって
4. 三世代親子の相互依存性
5. 基本的分析視角
6. 本書の構成

第1章 三世代親子データ分析の方法論的検討

1. 三世代親子マッチングデータの分析上の課題
2. 三世代親子関係プロジェクトの概要
3. ダイアドデータの類似性
4. ダイアドデータの分析方法

第2章 現代社会における三世代関係

1. はじめに
2. 子どもを産み育てるプロセスの再生産性と新規性
3. 二世代間、三世代間関係パラダイムの危機
4. 主観性と個性の時代／社会の多様な住人たち
5. 現代社会における三世代関係

第3章 世代間援助の発達的变化

1. 世代間援助の分析枠組み
2. 世代間援助の発生率
3. 各種の援助頻度と満足度の相関
4. 祖父母世代からの援助頻度を規定する要因
5. 父母世代と祖父母世代の認識の違い
6. 考察：それぞれの世代から見る世代間援助の発達的变化

第4章 三世代同居・近居の因果効果の推定

1. 背景と問題設定
2. 三世代同居・近居は親子関係に何をもたらすのか
3. 傾向スコアマッチング分析の方法
4. 同居・近居の因果効果の推定
5. 三世代同居・近居は有効な少子化対策なのか

第5章 思春期の子どもと祖父母との関係

1. はじめに
2. 調査の概要
3. 分析の結果
4. 本章のまとめ

第6章 世代性の発達的变化

1. 問題
2. 方法
3. 結果
4. 考察
5. 結論

第7章 祖父母世代における人生の統合

1. 問題
2. 方法
3. 結果と考察
4. 結論

終章 結果のまとめと今後の展望

1. 本書の目的と検討の視点
2. 各章の研究から明らかになったこと
3. 従来の研究の課題を超えられたのか
4. 今後の課題